eディスカバリ要件に対応した電子メールアーカイブ＆フィルタシステム /WISE Audit

e ディスカバリ機能

SECURITY
COMPLIANCE
ARCHIVES
CLOUD - MAIL
ASP / SaaS

WISE Audit
Message archive & filter

WISE Audit **eディスカバリ機能**は、
特許訴訟、PL訴訟、カルテル訴訟などの
国際訴訟発生時にeディスカバリの監査要件に
素早く対応できるだけでなく、
平時よりコンプライアンス違反を
監視・監査できる、グローバル企業のための
訴訟リスク対策ソリューションです。

**平時のメール監視・監査として社員の社外メールを分担してモニタリングしたり、
訴訟などの有事の際に短期間で証拠として提出する必要のあるメールを、
複数の監査者が分担して抽出するために必要な機能を、次のような利用シーンで活躍します。**

eディスカバリの国際標準に準拠

EDRM※に準拠した証拠メールの提出をサポートします。即ち、訴訟が予測された時点で、まず、訴訟ホールド機能により必要期間の証拠を保全、続いて提出する必要のあるメールだけを複数の担当者が分担して確認し、データの改ざんの有無を明記したレポートを作成します。

独禁法／競争法違反の事前検知・事後対策

競合他社とのメールのやり取りについて要注意キーワードを設定して定期チェックし、検出された問題の可能性があるメールは、複数の担当者に振り分けて通知するなどの機能を備えています。また、万一の違反発覚時には提出用レポートを作成できるので、課徴金減免制度適用に向けて素早く行動できます。

不当競争防止法違反の証拠収集

知的財産権への侵害による被害を受けた場合、不当競争防止法により権利侵害を訴えることができますが、権利を侵害された証拠は、原告側が用意する必要があります。複数の担当者によるメールからの証拠収集の迅速化と、証拠として提出するレポートの作成などの対応を支援します。

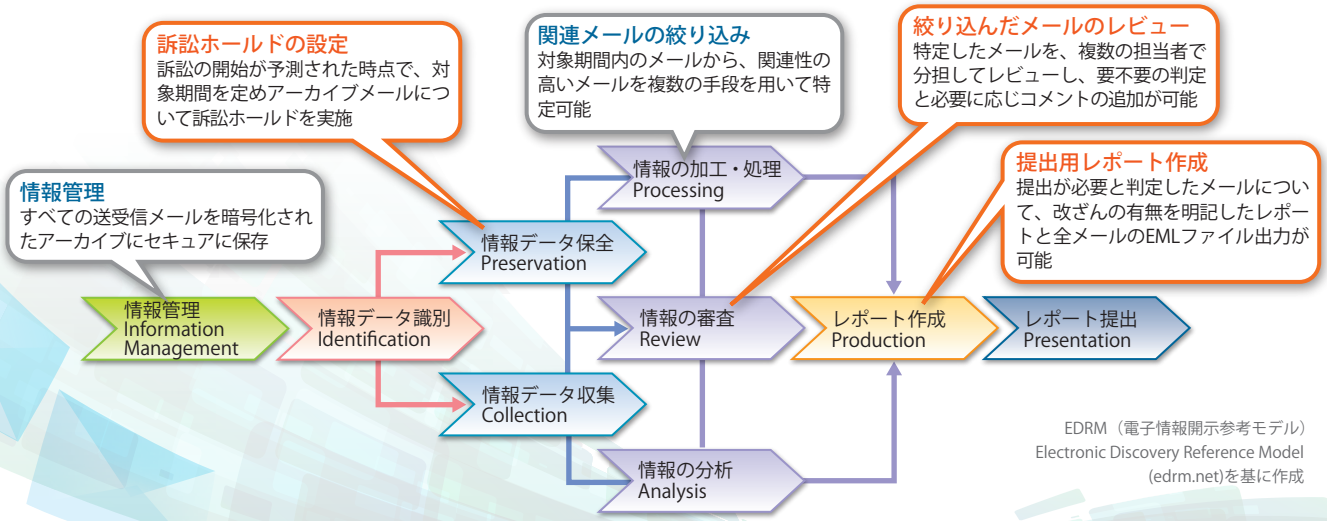
情報漏えいインシデント発生時の原因特定

不意の情報漏えいインシデントが発生した場合、原因を特定し事態の収集に向けての迅速な対応が求められます。複数の担当者によるメールからの原因特定の迅速化と、検討用レポートの作成などの対応を支援します。

EDRMワークフローとWISE Audit eディスカバリ機能

● WISE Audit eディスカバリ機能は、EDRM※ワークフロー上の各種作業において
メールデータの保全、抽出、監査（レビュー）出力の各種機能を提供します。

● オレンジ色の枠内がeディスカバリ機能になります。 ● グレーの枠内は標準機能です。



EDRM（電子情報開示参考モデル）
Electronic Discovery Reference Model
(edrm.net)を基に作成

※「EDRM」とは　The Electronic Discovery Reference Modelの略称です。
eディスカバリ（電子情報開示）を行うときのワークフローとして、
2005年発足のEDRMプロジェクト（edrm.net）によって策定されたガイドラインで、
現在、ほぼ世界標準の作業指標として法律事務所、サービスベンダなどの関係方面で利用されています。

本カタログはWISE Audit eディスカバリ機能を紹介しています。
WISE Audit本体および他の拡張機能の資料を別途用意しています。お気軽にお問い合わせください。

Create the Wise Solution by "AIR"

WISE Audit
Message archive & filter

WISE Audit eディスカバリ機能

SECURITY
COMPLIANCE
ARCHIVES
CLOUD-MAIL
ASP/SaaS

有事／平時に対応する機能

国際訴訟の当事者となった「有事」の時の対応と、価格カルテルの監視などの「平時」の対応の両面で、WISE Audit eディスカバリ機能は、効率的な作業をサポートし、訴訟関連のコストを最小限に抑えることに寄与します。

有事に必要とされる機能　＜eディスカバリへの対応＞

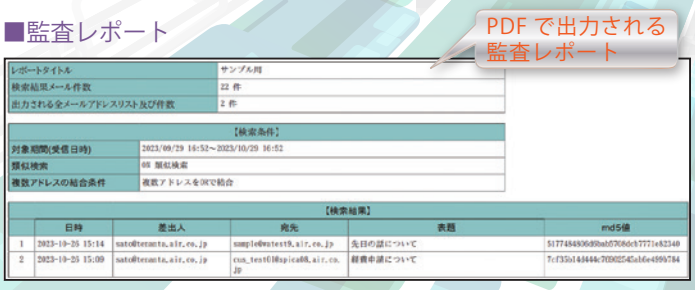
訴訟ホールドの設定	訴訟の開始が予測された時点で、対象期間を定めアーカイブメールについて訴訟ホールドを実施 ・各種自動削除停止 ・管理者への警告メール送信　ほか
対象メールの絞り込み	対象期間内のメールから、関連性の高いメールを複数の手段を用いて特定 ・自然文を入力したあいまい検索による絞り込み ・提出不要なメールを除外する検索対象外設定による検索 ・WISE　Auditのユニークな機能である、誰が誰とどんなやり取りをしているかをマップとして表示するメール相関関係検索を使用し、関係者メールの送受信者のアドレスの絞り込み
対象メールのレビュー	特定したメールを、複数の担当者で分担してレビューし、提出の要不要を判定、その際に秘匿特権文書を除外 ・検索結果リスト保管 ・エクスポート対象タグ付与 ・検索結果レポート出力
提出用レポート作成	提出必要と判定したメールについて、改ざんの有無を明記したサマリレポートと、全メールのEMLファイルを出力 ・改ざん判定 ・EMLバッチ出力 ・検索結果レポート出力 ・ログ機能

平時に必要とされる機能　＜独占禁止法違反の監視など＞

要注意キーワード監視	監視対象キーワードおよび監査担当者を事前に設定し、定期チェックを実施 ・監査管理者と担当者ロール設定 ・要注意キーワードの登録
インシデント管理	問題の可能性のあるメールの選定するために、定期的に自動でキーワード検索を実行し、検出されたメールは定められた担当者に振り分けて通知 ・スケジュール設定 ・監査対象メールの担当者への自動振り分け ・インシデントによる管理者の振り分け
監　査	担当者は問題メールの危険度を判定し必要に応じてコメントを追加 ・監査結果フラグと理由とコメントの登録 ・監査結果レポート作成 ・監査催促メールの送信
定期報告	監査結果の定期報告に対応 ・定期レポート自動作成

管理ツール画面例

■監査レポート



■メール監査ツール



動作環境

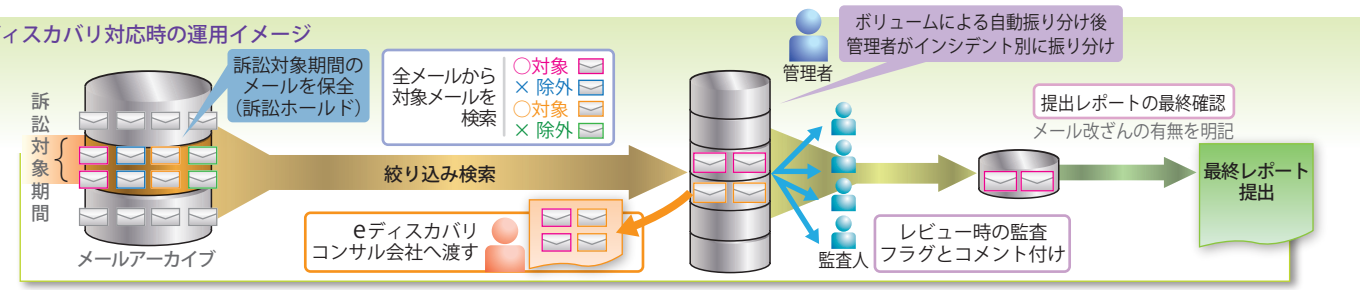
■動作環境

◆OS：
・Red Hat Enterprise Linux 9（64bit）

◆ブラウザ：
・Microsoft Edge（最新版）、Chrome（最新版）

● WISE Audit e ディスカバリ機能は、
WISE Audit のセットライセンスおよびアーカイブライセンスに含まれます。

eディスカバリ対応時の運用イメージ



WISE Audit 製品の詳細・資料ダウンロード・各種のお問い合わせは、
または WISE Audit 製品ページ（ https://air.co.jp/wau/ ）から！

wise audit　検 索

WISE Auditは、株式会社日立システムズエンジニアリングサービスと株式会社エアーの登録商標です。WISE Auditには株式会社データ変換研究所が開発した「デ変研TFライブラリ」が組み込まれています。
WISE Auditには「QuickSolution」が含まれています。「QuickSolution」は住友電工情報システム株式会社の登録商標です。WISE Auditには、RSA DataSe-curity,Inc.が開発したMD5 Message-Digest Digest Algorithmが組み込まれています。
その他記載の会社名・製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標・サービス名称です。製品仕様は予告なく変更されることがあります。価格は予告なく変更されることがあります。

AIR COMPANY LIMITED

株式会社 エアー

〈東　京〉〒105-0001　東京都港区虎ノ門4-3-20
TEL : 03-6773-7996
〈本　社〉〒565-0851　大阪府吹田市千里山西5-31-20
TEL : 06-6368-6080

製品についての詳細は、下記までお問い合わせください。
https://air.co.jp/

WAE202411_01